

○旭市学校再編地域検討会議設置要綱

令和 5 年 3 月 2 9 日
教育委員会告示第 4 号

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、旭市学校再編基本方針に基づき市内小中学校の再編（以下「学校再編」という。）を進めるに当たり、学校再編の対象校（以下「再編対象校」という。）ごとに設置する旭市学校再編地域検討会議（以下「検討会議」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 教育委員会は、学校再編に関し保護者、地域住民、教育関係者等からの幅広い意見を聴取するため、その指定する再編対象校に期間を定めて検討会議を設置する。

(所掌事項)

第 3 条 各検討会議の参加者（以下「委員」という。）は、学校再編に関する事項について、教育委員会の求めに応じ、意見を述べるものとする。

(委員)

第 4 条 委員は、25 人以内とする。ただし、再編対象校の通学区域（旭市立小学校及び中学校通学区域に関する規則（平成 17 年旭市教育委員会規則第 6 号）第 2 条に規定する通学区域をいう。次項において同じ。）の状況を考慮し、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

2 教育委員会は、次の各号に掲げる者に検討会議への参加を依頼するものとする。

- (1) 再編対象校の児童又は生徒の保護者の代表
 - (2) 再編対象校の通学区域内の地域住民の代表
 - (3) 再編対象校の学校教育関係者
 - (4) 再編対象校の通学区域内の福祉関係者
 - (5) 再編対象校の通学区域内の青少年育成関係者
 - (6) その他教育委員会が必要と認める者
- (会長及び副会長)

第5条 検討会議に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、検討会議の会議（以下「会議」という。）を進行する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

2 会議は、旭市情報公開条例（平成17年旭市条例第14号）第12条各号に掲げる不開示情報に該当すると認められる事項を取り扱う場合を除き、公開する。

（庶務）

第7条 検討会議の庶務は、教育総務課において処理する。

（委任）

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討会議に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

○旭市審議会等の会議の公開に関する要綱

平成 17 年 7 月 1 日

告示第 4 号

(目的)

第 1 条 この要綱は、審議会等の会議の公開に関し必要な事項を定め、審議会等の会議のより公正な運営及び透明性の向上を図ることにより、もって開かれた市政の実現に資することを目的とする。

(審議会等)

第 2 条 この要綱において「審議会等」とは、実施機関（旭市情報公開条例（平成 17 年旭市条例第 14 号。以下「条例」という。）第 2 条第 1 号に掲げる機関をいう。）に設置された審議会、協議会等をいう。

(会議の公開の原則)

第 3 条 審議会等の会議は、これを公開するものとする。ただし、次の各号に掲げる場合は、この限りでない。

- (1) 法令等に特別の定めがある場合
- (2) 会議において、条例第 12 条各号に掲げる不開示情報に該当すると認められる事項を取り扱う場合
- (3) 会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営が阻害されると認められるときで、審議会等が会議を公開しないことを決定した場合

(会議開催の事前公表)

第 4 条 審議会等は、公開する会議を開催する場合は、会議開催予定日の 1 週間前までに次の各号に掲げる事項について公表するものとする。ただし、緊急に会議を開催する必要がある場合は、この限りでない。

- (1) 会議の名称
- (2) 会議の開催日時
- (3) 会議の開催場所
- (4) 議題
- (5) 傍聴人の定員
- (6) 前各号に掲げるもののほか、審議会等が必要と認める事項

(会議の公開の方法)

第5条 審議会等の会議の公開の方法は、会場内に傍聴席を設け、会議の傍聴を希望する者に当該会議の傍聴を認めることにより行うものとする。

2 傍聴を希望する者が定員を超える場合は、先着順により傍聴人を決定するものとする。ただし、審議会等が必要と認めるときは、抽選等其他の方法により傍聴人を決定することができる。

3 審議会等は、会議を公開する際、旭市傍聴要領（別記様式）を傍聴人に配付すること等により、会議が公正かつ円滑に行われるよう会場内の秩序維持に努めるものとする。

(会議資料の提供)

第6条 審議会等は、会議を公開する場合、当該会議に付する会議次第及び会議資料を傍聴人に配付するよう努めなければならない。

(会議結果等の公開)

第7条 公開した審議会等の会議結果は、条例に基づき原則公開とし、会議終了後、速やかにこれを一般の閲覧に供するものとする。

附 則

この要綱は、平成17年7月1日から施行する。

別記様式（第5条関係）

別記様式(第5条関係)

旭 市 傍 聴 要 領

審議会等名

- 1 傍聴の受付は、先着順に行い、定員になり次第、受付を終了します。
- 2 会議を傍聴する場合に守っていただく事項
 - (1) 傍聴人は、会議を傍聴する場合は、議長及び係員の指示に従ってください。
 - (2) 会場内では、発言、質問等できません。
 - (3) 会議開催中は、静粛に傍聴することとし、拍手その他の方法により賛成又は反対の意向等を表明しないでください。
 - (4) 会場内で、写真撮影、録画、録音等を行わないでください。ただし、議長が認めた場合は、この限りではありません。
 - (5) 会場内において、張り紙、ビラ、ブラカード、のぼり等を携帯したり、鉢巻、腕章等を着用しないでください。
 - (6) その他会場の秩序を乱し、会議の妨げとなるような行為はしないでください。
- 3 傍聴人が上記のことを守っていただけない場合は、注意し、なおこれに従わないときは、退場していただく場合があります。

学校再編地域検討会議の目的

本会議は、旭市学校再編基本方針に対する保護者アンケートの結果を踏まえ、

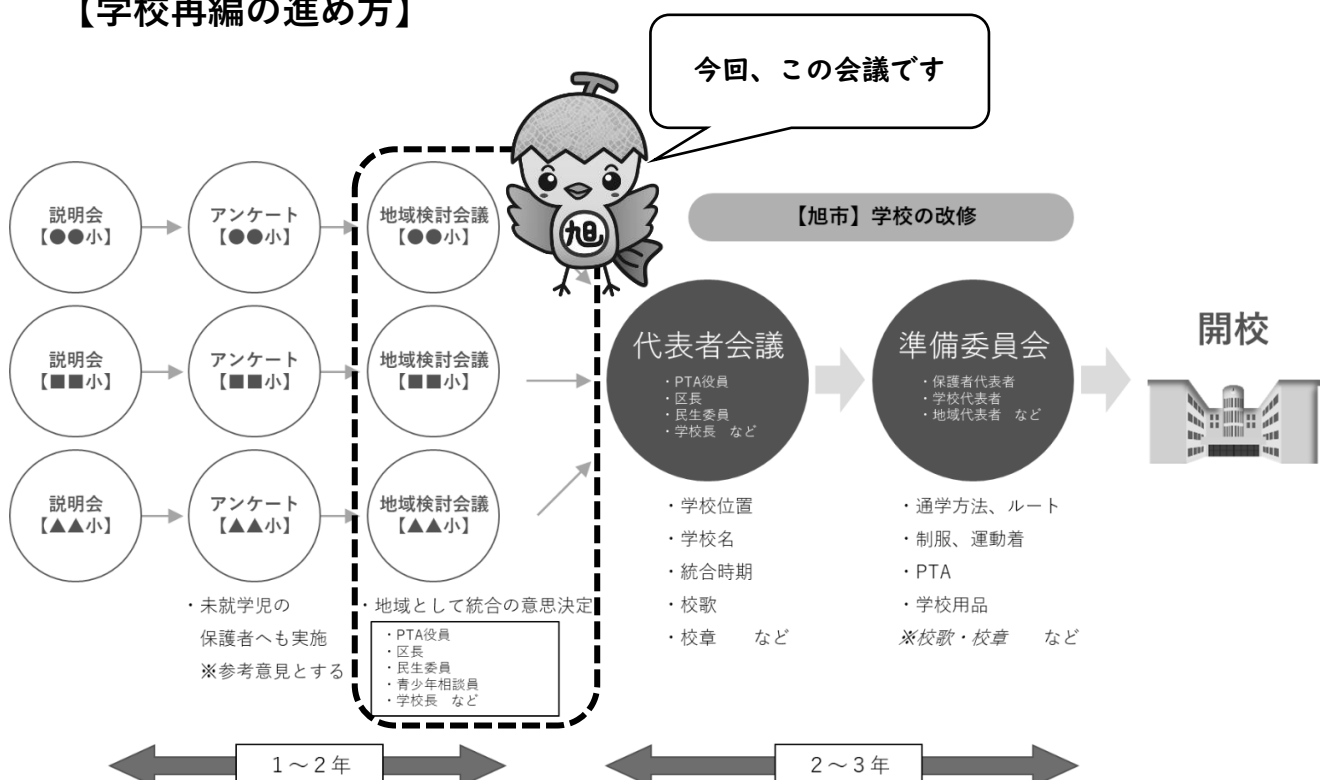
1. 地域として、学校再編の方向性について意見をまとめる。

2. 「統合」となった場合、統合に向けての要望をまとめる。

ことを目的としておりますので、委員の皆様で意見交換をしていただきますようお願いいたします。

本会議でまとめられた御意見は、次の代表者会議にて地域の御意見として持ち寄ります。代表者会議で統合について最終的な意思決定を行い、具体的なことを決めていきます。

【学校再編の進め方】



(案)

旭市立●●小学校地域検討会議 検討結果

(仮称)干潟地域小学校への統合について旭市立●●小学校地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

旭市教育委員会が提案した「●●小学校の統合」について、「賛成 (or 反対)」とする。

【理由】※賛成の場合

●●小学校は、〇〇年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統がある。また、地域のシンボルでもあり、閉校することが非常に惜まれる。

一方で、児童数の減少により複式学級となる可能性が現実的となることから、子供たちのことを最優先に考え、統合はやむを得ないという意見が多数となったため、本会議として「賛成」とする結論となった。

【統合に向けての要望】

- ①スクールバスについて、…
- ②跡地活用について、…
- ③学童について…

【会議の概要】

第 1 回	
第 2 回	
第 3 回	

令和 5 年〇月〇日
旭市教育委員会



旭市学校再編基本方針

(仮称)

干潟地域小学校

中和小学校・萬歳小学校・古城小学校



目次

01

各小学校の概要

- ①各小学校の位置
- ②施設の概要
- ③各学校の児童数の推移・推計

02

学校再編の内容

- ①統合後の児童数と学級数の推計
- ②通学方法
- ③統合にあたっての改修例

03

スケジュール

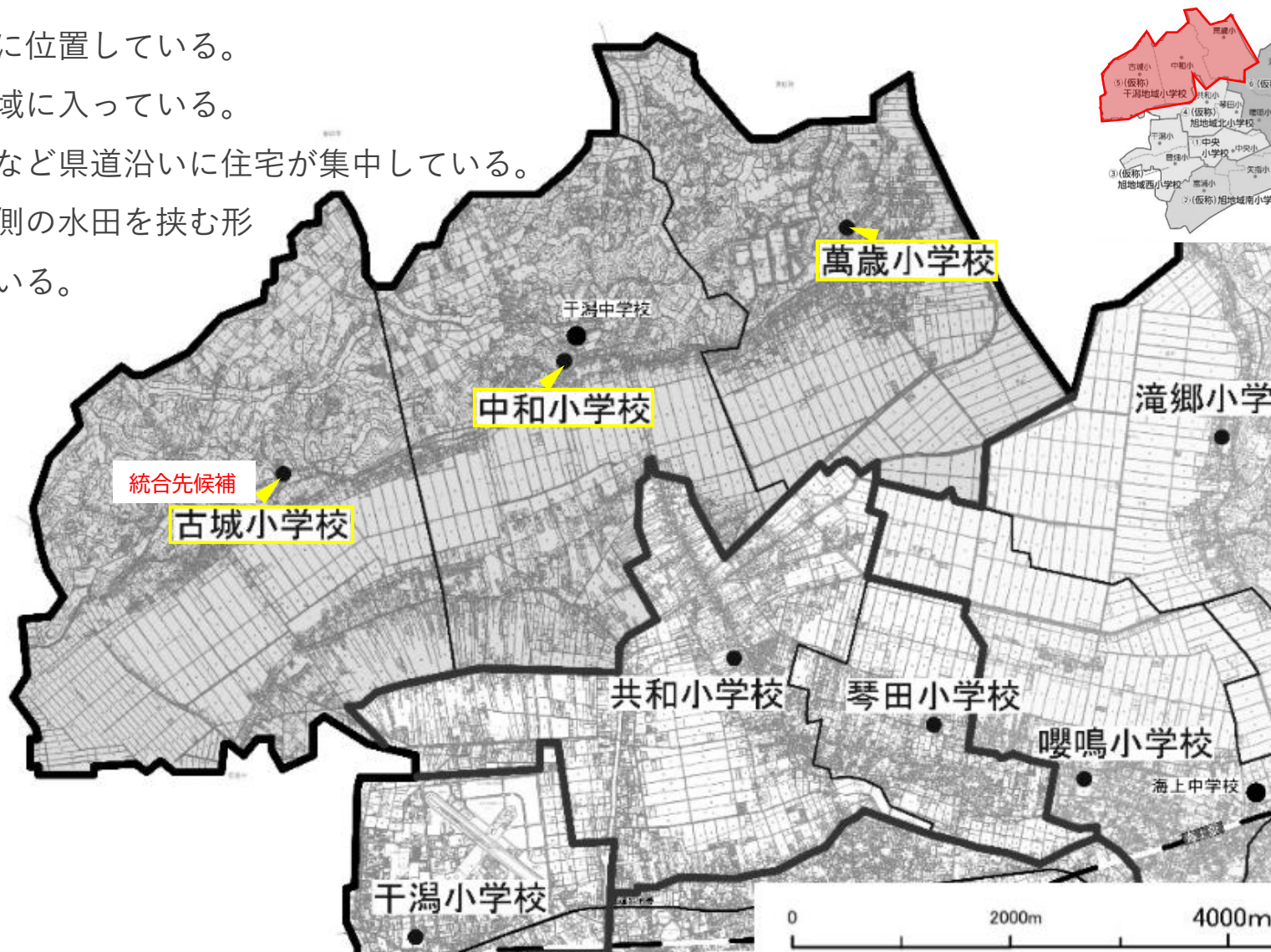
今後の進め方・スケジュール



①各小学校の位置

各小学校の概要

- 【位置】 どの学校も学区のほぼ中央に位置している。
- 【立地】 どの学校も土砂災害警戒区域に入っている。
- 【住宅】 県道多古笹本線、旭笹川線など県道沿いに住宅が集中している。
また、中和小と古城小は南側の水田を挟む形で南部にも住宅が広がっている。



	中和小学校	萬歳小学校	古城小学校
			
校舎築年／延床面積	1988 (S63) ／2,515㎡	1990 (H2) ／2,738㎡	1993 (H5) ／3,059㎡
耐震化	済	済	済
普通教室の数	8	11	11
敷地面積 (うち借地)	6,861 (2,113) ㎡	9,687 (182) ㎡	13,740 (0) ㎡
屋内運動場築年・面積	1988 (S63) ／766㎡	1997 (H9) ／1,090㎡	2004 (H16) ／1,149㎡
プール有無 (状況)	無 (解体済)	有 (S39 老朽化により使用中止)	有 (H2)
隣接公共施設の有無	無	無	無
土砂災害警戒区域	有 (大部分)	有 (大部分)	有 (部分的)

②施設の概要

各小学校の概要

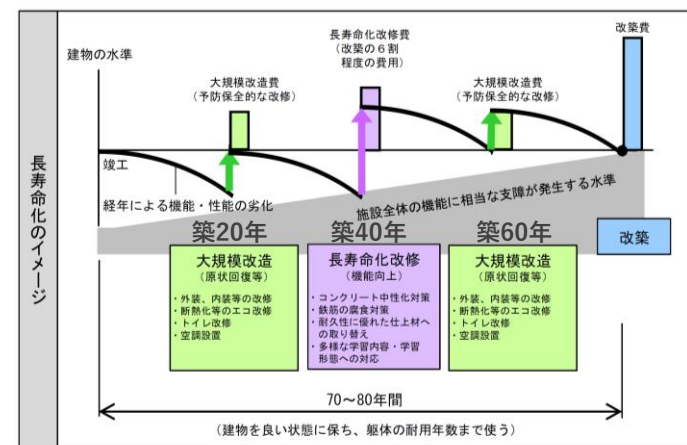
干潟地域の3小学校は建築年は昭和から平成の切替わり時期に建築され比較的新しいため、今後の利用も可能である。

※青塗:築後20年未満 → 黄塗:築後50年 → 赤塗:築後80年未満 → 黒塗:築後80年以上(長寿命化工事をしてでも耐用年数は80年)

学校教育関連施設				2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
校名	棟名	延床	建築年									
中和小学校	管理教室棟	2515	1988(S63)	32	37	42	47	52	57	62	67	72
	屋内運動場	766	1988(S63)	32	37	42	47	52	57	62	67	72
萬歳小学校	管理教室棟	2738	1990(H2)	30	35	40	45	50	55	60	65	70
	屋内運動場	1090	1997(H9)	23	28	33	38	43	48	53	58	63
古城小学校	管理教室棟	3059	1993(H5)	27	32	37	42	47	52	57	62	67
	屋内運動場	1149	2004(H16)	16	21	26	31	36	41	46	51	56

【参考】学校施設の長寿命化のイメージ

	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校舎	80年	築20年／60年	築40年
体育館	80年	築20年／60年	築40年



③各学校の児童数の推移・推計

各小学校の概要

中和小学校

	2018 H30	2019 R01	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10
1年生	19	24	6	14	17	11	10	7	6	6	9
2年生	21	19	23	6	14	17	11	10	7	6	6
3年生	23	21	19	22	6	14	17	11	10	7	6
4年生	16	21	20	19	22	6	14	17	11	10	7
5年生	18	17	21	21	19	22	6	14	17	11	10
6年生	14	18	17	21	21	19	22	6	14	17	11
合計	111	120	106	103	99	89	80	65	65	57	49

萬歳小学校

	2018 H30	2019 R01	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10
1年生	9	16	7	15	10	15	8	12	7	7	9
2年生	17	9	18	7	15	10	15	8	12	7	7
3年生	13	17	9	18	7	15	10	15	8	12	7
4年生	13	13	19	10	18	7	15	10	15	8	12
5年生	9	12	13	19	10	18	7	15	10	15	8
6年生	12	9	12	13	19	10	18	7	15	10	15
合計	73	76	78	82	79	75	73	67	67	59	58

古城小学校

	2018 H30	2019 R01	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10
1年生	20	20	18	19	13	12	12	13	15	10	16
2年生	13	20	19	18	18	13	12	12	13	15	10
3年生	27	13	20	19	18	18	13	12	12	13	15
4年生	23	26	15	20	19	19	18	13	12	12	13
5年生	20	23	26	15	20	20	19	18	13	12	12
6年生	21	19	24	26	13	13	20	19	18	13	12
合計	124	121	122	117	101	95	94	87	83	75	78

3校合計

	2018 H30	2019 R01	2020 R02	2021 R03	2022 R04	2023 R05	2024 R06	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10
1年生	48	60	31	48	40	38	30	32	28	23	34
2年生	51	48	60	31	47	40	38	30	32	28	23
3年生	63	51	48	59	31	47	40	38	30	32	28
4年生	52	60	54	49	59	32	47	40	38	30	32
5年生	47	52	60	55	49	60	32	47	40	38	30
6年生	47	46	53	60	53	42	60	32	47	40	38
合計	308	317	306	302	279	259	247	219	215	191	185

7 複式学級が発生する可能性がある学年

【複式学級とは】

2つ以上の学年をひとまとめにした学級編成。

・1年生を含むときは合計の児童数が8名以下。

・それ以外は児童数が16名以下。

その場合、1人の教員が2つの学年の担任となる。

※1 2018～2022年は5月1日時点の児童数。

※2 2023～2027年の黄色塗は令和4年度児童数（R4.5.1時点）の異動が無いと仮定し転記した数。

※3 2023～2028年の水色塗は旭市住民基本台帳（R4.4.18時点）の1歳～6歳児の人数を利用し、異動が無いと仮定し転記した数。

学習の制約

PTA活動などの負担大

②統合後の児童数と学級数の推計

学校再編の内容

統合小学校	対象校	児童数 学級数	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
			R 2	R 7	R 1 2	R 1 7	R 2 2	R 2 7	R 3 2	R 3 7	R 4 2
⑤（仮称）干潟地域小学校	中和小	児童数	106	66	56	49	44	40	36	31	27
	萬歳小	児童数	78	66	53	49	46	41	36	31	27
	古城小	児童数	122	104	90	80	73	62	53	47	42
	合 計	児童数	306	236	199	178	163	143	125	109	96
		学級数	18	7	6	6	6	6	6	6	6

※2020年は実績値。2025年以降は推計値。

【古城小学校のメリット・デメリット】

- ・校舎が新しく教室や設備の状態が良い。
- ・敷地が他の2校よりも広く、形状が良いため、校舎やバスターミナルなどの整備がしやすい。
- ・立地が学区の西側にあるため、通学方法の検討が必要となる。
- ・屋内運動場と校舎の一部が土砂災害警戒区域に入っているため、対策が必要となる。（昭和48・49年に治山事業で地すべり対策は実施済）

【住民基本台帳】

中和小学校： 65人
 萬歳小学校： 65人
 古城小学校： 87人
 合計：217人



③通学方法

学校再編の内容

通学方法は、コミュニティバスやスクールバスの活用を検討します。各地域にバスターミナルを位置づけ、そこまで徒歩で集合してもらうなど、子どもたちの健康維持を図りつつ、通学の安全確保や効率化を図ります。

【萬歳小学校】

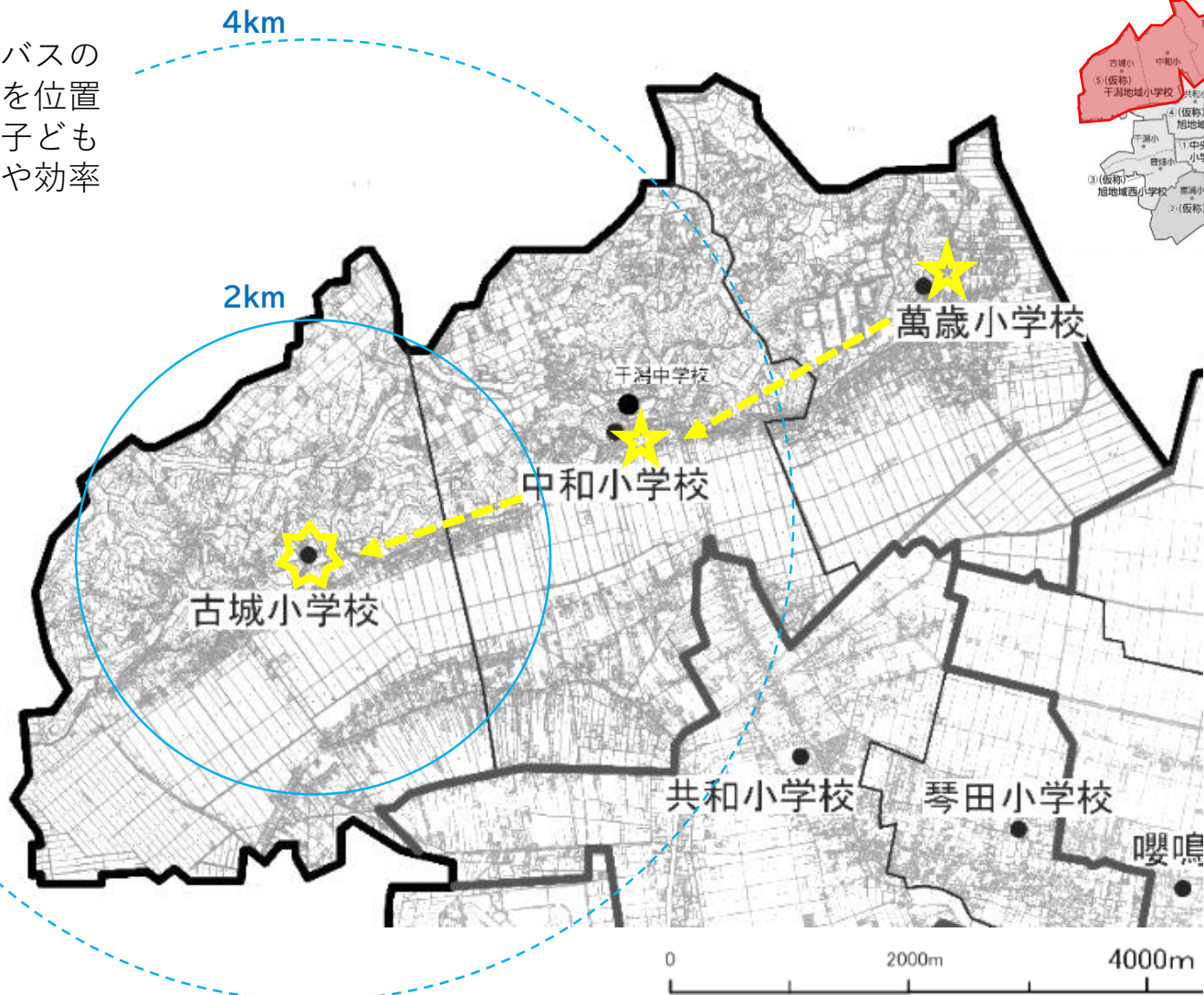
- ・ほぼ全域が土砂災害警戒区域にあるため、学童施設とバスターミナルの移転を検討
※萬歳多目的センターや萬歳保育所等

【中和小学校】

- ・ほぼ全域が土砂災害警戒区域にある
- ・学童施設やバスターミナルは干潟市民センターを拠点とする予定

【古城小学校】

- ・屋内運動場が土砂災害警戒区域にある
- ・バスターミナルの整備を予定
- ・学童施設の見直し、移転

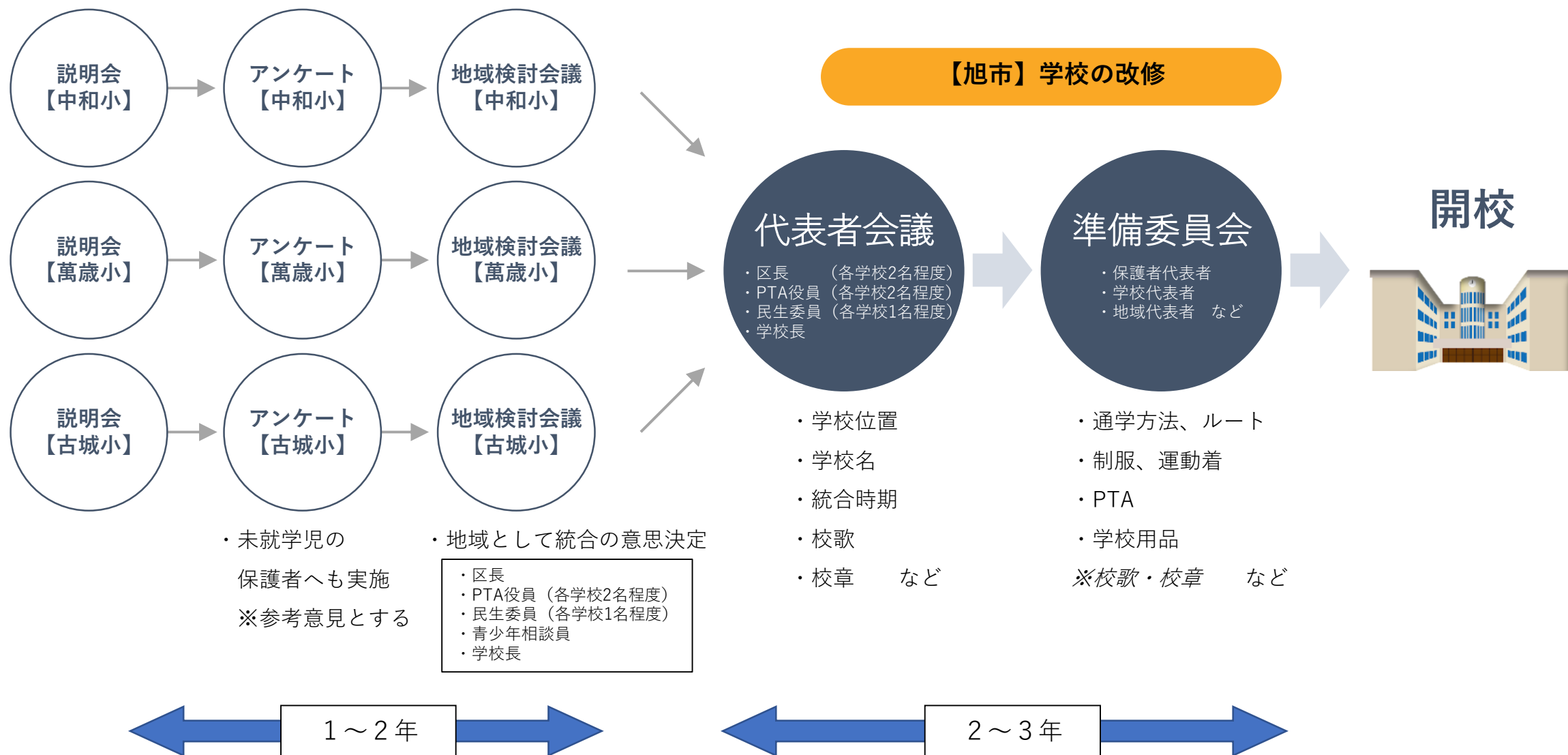


④統合にあたっての改修例

統合にあたり、必要となる学校の改修や整備を行っていきます。下の表は整備内容の一例を示したものです。
 なお、廃校となる学校についても跡地活用方法などを検討していきます。

創造的改修	少人数学習・教育のICT化の推進
劣化改修	内装の改修・外装の改修・給排水の改修・電気設備の改修
機能的改修	空調設備・照明のLED化・バリアフリー化（スロープ、手すり、エレベーターなど）
拠点機能整備	PTA活動拠点・防災拠点の強化
機能補填	校舎の増築・プールの改修や機能拡充もしくは廃止（民間活用）
学童施設の検討	学童施設の改修または新築

過ごしやすい教室・快適で清潔なトイレなど



干潟地域小学校に係る保護者アンケート結果

■ アンケート募集期間

令和4年12月13日（火）～令和5年1月15日（日）

■ アンケート対象者・回答数

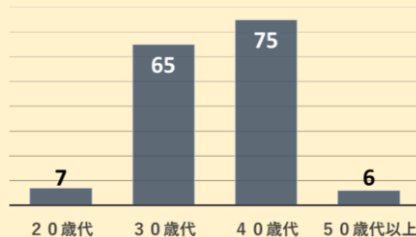
回答数155人（うち重複1人・本人確認不能1人）：有効回答者数153人

【回答者内訳】

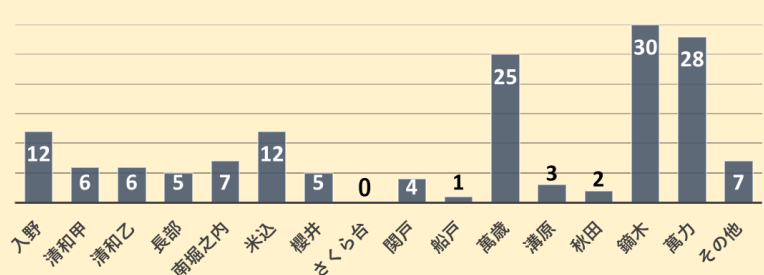
名 称	児童数	家庭数	回答数	回答率
中和小学校	99	69	46	66.67%
萬歳小学校	79	57	31	54.39%
古城小学校	101	80	47	58.75%
小学校計	279	206	124	60.19%

名 称	児童数	対象家庭数	回答数	回答率
まんざい保育所	40	35	8	22.86%
古城保育所	44	38	5	13.16%
干潟町中央保育園	42	31	5	16.13%
あさひこひつじ幼稚園	315	27	11	40.74%
幼保計	441	131	29	22.14%

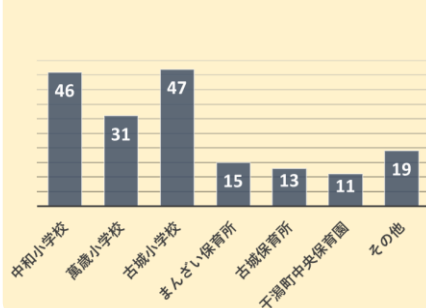
【年齢構成】



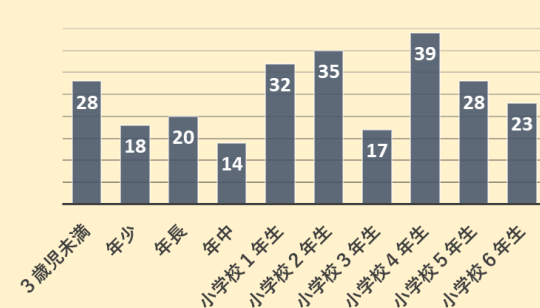
【お住まいの地区】



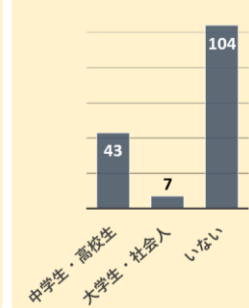
【お子様の所属】 ※兄弟姉妹すべて



【兄弟姉妹の分布】 ※兄弟姉妹すべて

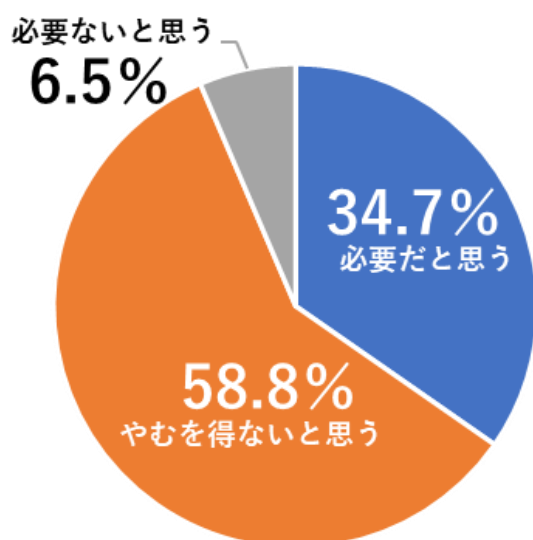


【その他】

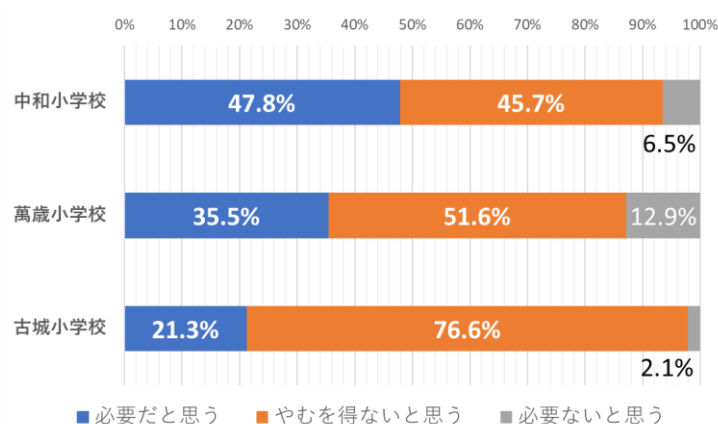


1. 学校統合は必要だと思いますか。

【小学校計】

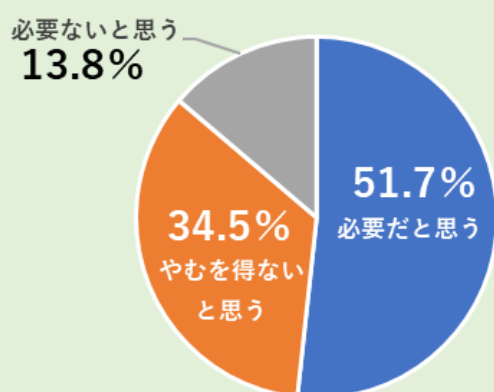


【学校別】



	小学校計		中和小		萬歳小		古城小	
必要だと思う	43	34.7%	22	47.8%	11	35.5%	10	21.3%
やむを得ないと思う	73	58.8%	21	45.7%	16	51.6%	36	76.6%
必要ないと思う	8	6.5%	3	6.5%	4	12.9%	1	2.1%
合計	124	100.0%	46	100.0%	31	100.0%	47	100.0%

【参考】未就学児の保護者

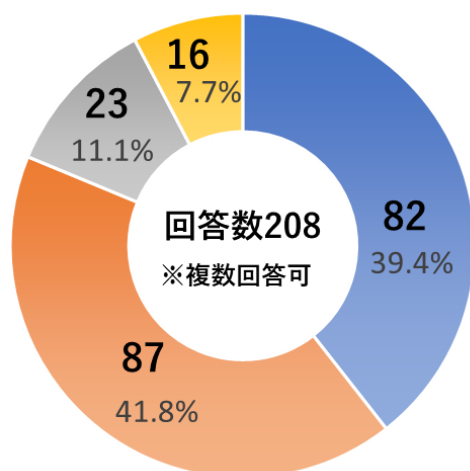


保育所等

必要だと思う	15	51.7%
やむを得ないと思う	10	34.5%
必要ないと思う	4	13.8%
合計	29	100.0%

※小学校では、全体／学校別共に「必要」「やむを得ない」が90%前後を占めています。
同様に、未就学児（保育所等）でも約86%を占める結果となりました。

2. 「必要」または「やむを得ない」と回答した理由を教えてください。



- 複式学級は避けたい
- 多様なグループ活動を期待する
- PTAや地域の活動が行いやすい
- その他

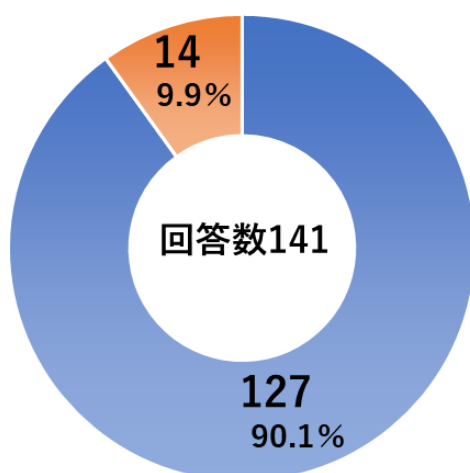
複式学級は避けたい	82	39.4%
多様なグループ活動を期待する	87	41.8%
PTAや地域の活動が行いやすい	23	11.1%
その他	16	7.7%

合計 208 100.0%

【お寄せいただいた意見】

- ・部活動をやりたい。
- ・統合して向上するかは教諭達の腕次第。子供達の大人に対する観察力の方が優れています。それに対して教諭達はきちんと導き出せるかは今も疑問です。統合することで教諭達のやる気が上がれば子供達も伸びていくと思います。
- ・児童が少人数のため。
- ・人がいないため、ずっと PTA 役員を行わなければならない。子供会がなりたたない。
- ・少人数で男女比が極端な学年があるため。
- ・クラブ活動の種類を増やしてほしい。沢山の人と関わり、社会性を身につけてほしい。
- ・人数が少ないから。
- ・友達の輪を広げる。
- ・子供達の人数が減ってきてるので。
- ・児童数が減ることにより、学校経営の方も厳しくなってくると思う。学校を統合し、児童数を増やすことにより、多くの友達や教員、保護者の交流がある環境で、学校行事や教育を望む。
- ・必要だが、子供の人数が少ない地域で統合しても学級の数もたかがしれているので、統合でなく廃校でも良いと思う。
- ・同学年でのグループ活動で、複数の相手の考え・発表を聞いたりする機会や体育などもある程度の人数は必要だと思う。
- ・人がいないなら仕方ないと思う。
- ・統合の目的として児童数や複式学級の問題もありますが 一番大切なことは教育の質の問題だと思います。統合するからには2クラス以上が望ましいと考えます。複数クラスになることで子供たちの環境は今より改善されることと思います。
- ・クラスの人数自体が少なく、学年によって女の子、男の子どちらかがとても少ない学年がある。
- ・子どもの可能性を広げたい。

3. 統合する場合、どのような統合が望ましいと思いますか。



■ 3校の統合（古城小を活用する）

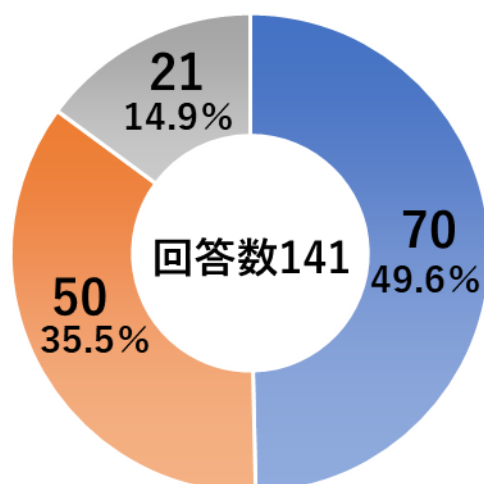
■ その他

3校の統合（古城小を活用する）	127	90.1%
その他	14	9.9%
合計	141	100.0%

【お寄せいただいた意見】

- ・もっと広範囲での統合。
- ・築年数が一番新しい校舎を使用してほしい。
- ・小中一貫校。
- ・萬歳地区が遠過ぎる。
- ・さらなる広域化の統合ができればなお良い。
- ・過疎給付金で中間地に新設。
- ・地域中央に統合するのが望ましい。
- ・義務教育学校の新設。
- ・災害警戒区域外で、学区の中間地点に新設。
- ・旧干潟の小学校3校の統合が良いが、学校という建物は何十年も続くものだと思うので、10年、20年後にまた小学生が少ないとなるのなら、最初から中学校や学童も同じ場所にあると良いと思う。
- ・3校の統合は暫定的な措置として考えなければなりません。統合した学校が複数クラスにならないのは干潟だけです。琴田小、共和小を含めた5校の統合が望ましいと考えます。
- ・中学校の統合地域のエリアに小学校も一緒にして欲しい。
- ・できれば中間の中和小が距離としては希望だが、説明を聞いた上では、古城小でやむをえないと思うが、複雑な気持ちである。

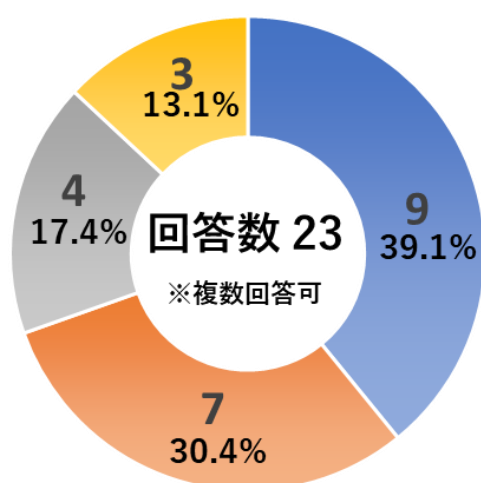
4. 統合する場合、その時期はいつ頃が望ましいと思いますか。



- できるだけ早く
- 5年以内が良い
- それ以降でよい

できるだけ早く	70	49.6%
5年以内が良い	50	35.5%
それ以降でよい	21	14.9%
合計	141	100.0%

5. 「必要ない」と回答した理由を教えてください。



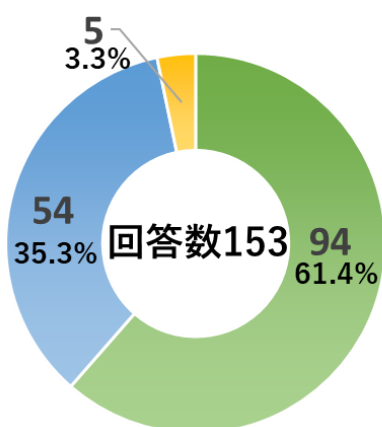
- きめ細かな指導を期待
- 学校が遠くなり不便
- 地域に学校を残したい
- その他

きめ細かな指導を期待	9	39.1%
学校が遠くなり不便	7	30.4%
地域に学校を残したい	4	17.4%
その他	3	13.1%
合計	23	100.0%

【お寄せいただいた意見】

- ・ 統合しても人が少なくなるのでその時期の方が経費的にもいいのでは。
- ・ 遠くなることで高齢者には行きづらくなる。保護者が集まる時に駐車場が足りない。イジメに気付くのが遅くなったり、気付かなそう。
- ・ 近い学校にして 萬歳なら琴田小 中和なら共和小 古城なら干潟小。

6. 学区について、学校の再編を進めるうえで、現在の学区制度についてどう思いますか。



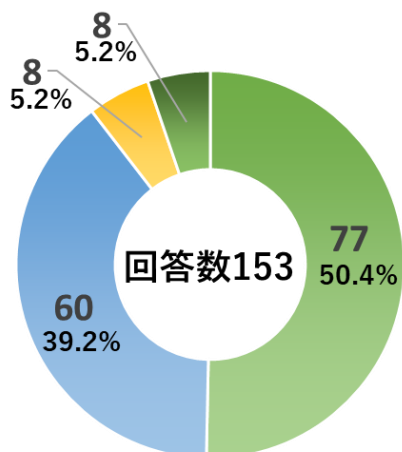
- 現状のままでよい
- 見直した方がよい
- その他

現状のままでよい	94	61.4%
見直した方がよい	54	35.3%
その他	5	3.3%
合計	153	100.0%

【お寄せいただいた意見】

- ・部活動が少なく選べないので、そこを自由にしてほしい。
- ・学区制度はいらない。行きたい学校に行くのが良いと思う。
- ・学区はいらない。
- ・わからない。
- ・どちらでもよい。

7. 学校の跡地利用について、どれが望ましいと思いますか。



- 市の施設として有効利用
- 民間利用を進める
- 解体し売却
- その他

市の施設として有効利用	77	50.4%
民間利用を進める	60	39.2%
解体し売却	8	5.2%
その他	8	5.2%
合計	153	100.0%

【お寄せいただいた意見】

- ・無駄のないよう考えて下さい。
- ・お任せします。
- ・有効利用できるなら1番だけれど、できないようなら解体し売却もやむを得ないと思います。
- ・公園が近くにないので、遊び場として残して欲しい。
- ・有効利用か解体して売却。
- ・維持費がかからない方法でよいならどれでも。
- ・反対に上手な使い方があるなら教えていただきたいです。

8. その他、小学校統合に関するご意見

統合が「必要」「やむを得ない」と回答された方

- ・干潟地区で統合を行なっても、また数年後には再統合を行わないといけないので最初からもっと広範囲の統合をすべきだと思います。
- ・とにかく早くお願いしたいです。中学校も統合をすすめていただきたいです。それができないのであれば、学区外の学校を選択することを容易にいただきたいです
- ・統合によって通学に不便のない様、お願いします。
- ・統合をするならば、徒歩は危険なので、通学バスを早々に運用してください。
- ・給食を自校給食にしてほしい。温かくてよりおいしい給食がよい。
- ・やむを得ないが、古城小学校まで遠い。送り迎えが多くなりそうで心配です。
- ・急いで合併する必要は無いと思いますが、合併前に学用品等を徐々に3校同じ物にしたり合同のイベントなどを行うとスムーズに合併出来るのではないかと思います。
- ・スピード感を持って取り組んで欲しい。時間を掛ける意味は無い。
- ・統合に伴いスクールバスの開設、児童数が増えることから教員の充実、統合するにあたり3校の在校生徒の交流の必要。小中一貫校の開設が1番いいのではないのでしょうか。
- ・通学の便を考えたらできれば小中一貫校を希望。しかし少子化も進んでいるので。
- ・スクールバスは、必要だと思います。
- ・児童数の減少によるデメリットは大きい。子どもたちの教育の質向上を最優先に統合を早期に進めて欲しい。
- ・学童がどうなるか気になる。
- ・在校生の利用しているものは、そのまま使って欲しい。ジャージや体操服、など。
- ・スクールバスに関する詳しい情報を教えて欲しい。
- ・古城小は遠いから使いたくない。
- ・学校までの距離が遠いので、バスが出ると助かる。また、現在は少人数のため集団登下校の規則があり、その縛りがあると習い事など家庭の事情があっても他の児童も乗せていかないとならないので、家庭の都合で動けないのが大変。
- ・この機会にPTA活動の見直し縮小及び廃止。その他慣例の見直し及び廃止。
- ・登校に関する情報が早く欲しいです。プールは民間施設を利用して天候に関係なく年間を通して授業を行える仕組みが欲しいです。
- ・近隣地域はすでに数年前に小中統合しています。干潟地区はまだ計画段階と考えられないほど遅い。旭市全体を見ても干潟地域の福利厚生が明らかに乏しい（まともに子供が遊べる公園がない）。
- ・今の学校生活では、人数が少ないことのメリットよりもデメリットが多い気がします。体育などではこどもの心が傷つく場面が多々あります。運動会やマラソン大会など。その為統合は早い時期にした方がいいと思いますが、何年か先にまた同じ状況になってしまうのはどうかと考えます。旧干潟、旧旭市という考えは無くして、旭市全体で人数が平等になるような学区を新しく決めるべきだと思います。古城小学校が統合先なら、干潟小の北側地域などはバス通学もできるのではないのでしょうか。中学校の統合も人数が平等になるように小学校の統合も考えるべきだと思います。合併し、旭市となった以上は子ども達のうける教育、環境は平等になる様にしていきたいです。

- ・新しい校舎ができてから、統合したほうがいいのではと思います。古城に移動して、また新しい校舎に移動するのが大変だと思います。また、通学がどのようになるのかが不安です。
- ・クラブ活動どうなるかが気になります。
- ・バス通学になるだろうと予測していますが、どこがバス停になるのか、知りたい。
- ・バス通学の場合の乗降場所や児童の乗降誘導についての方針を知りたいです。
- ・子供の人数と先生の人数を増やして活気ある小学生作りが大事だと思う。
- ・具体的にいくつかの統合案があると検討しやすい。あまりにも情報が少なく、なかなか検討しづらいのと、すでにある程度決まっていることに対して意見を言ってもどうしようもない気もする。前回、小学校で行われた説明会では統合が5年を目処といていた。そうすると、小学校より中学の統合の話が現実的だと思う。現在何歳の子供から統合になるのかという情報を早めに頂きたい。統合した場合、現在の地域の区の制度や、役員の在り方なども情報がほしい。
- ・統合関連の委員会結果や決定事項をスクールメールなどで展開（URL 誘導など）して確認しやすくしてほしい。
- ・将来的に新しく、小中学校を同じ敷地内に建てて欲しいです。
- ・3校統合した場合のスクールバスの登下校が一番気になっている。地区ごとにスクールバスが巡回して、時間なども、一便二便など何本かバスの運行が可能かなども、気になるので、このスクールバスの運行については、しっかりと、決めて欲しいと思う。
- ・特にありません。
- ・今回の統合の小学校への入学は正直前向きではない。
- ・緊急の迎えのときや、子供が複数いる環境も考えて統合していただけると幸いです。
- ・現在、少人数学校での教育機会の不平等を強く実感しています。将来的にはより広域での小中学校の再編が必要かと思っています。検討委員会等で早急に見直しや計画変更がされることを望みます。
- ・早い段階で地域の代表者会議の開催を望みます。地域の意見を聞く会議が遅ければ遅いほど統合に時間がかかると考えます。保護者一人一人は市に対して個人の意見を述べるのが現状です。代表者が地域のことをしっかり考えて市と対話していくやり方が良いと思います。
- ・古城小に統合されても人数が少なくなる予定なら、今回の統合で中学校統合地域が一緒の学校と小学校も一緒にして欲しい。
- ・良くも悪くもクラス替えが行える程のクラス数がある方が、新しい風が入っていいと思う。また登下校に使用する道に飼い犬の糞をそのままにしている飼い主を多く見かける。近所で子供を散歩させる時もよく見かけるのと、明らかに処理する物を何も持っていなく犬の散歩をしてる人とすれ違う事も多い。とても不快に思う。男の子は特にうんちワードが面白く聞こえるし、ふざけて触ったりなどの衛生面がとても気になる。
- ・私の子供たちは学区外申請をし、中和小学校に通っていますが、家は学校から遠いので、スクールバスを利用したいと思っています。なるべく家から近い場所から乗ることができればと思っています。

統合が「必要ない」と回答された方

- ・子供たちの意見を第一に聞いてほしい。
- ・近い学校にして萬歳なら琴田小 中和なら共和小 古城なら干潟小。
- ・もし統合して校舎を新設するなら中学校の近くにして欲しい。学年が異なり保育園、小学校、中学と学校がバラバラになるとスクールバスが通るかもしれないが万一、自分で送迎となると方向もバラバラになり生活や仕事に支障が出ると思うので。
- ・運営に関してどうしても存続が出来ないのであれば仕方ないかなとも思う部分はあるけれど、自分が学んだ母校に自分の子どもを通わせたいと思う気持ちがあります。それに我が母校が廃校になるというのはとても寂しいです。

【問合せ先】

旭市教育委員会教育総務課 施設班
TEL：0479-85-8619



学校再編だより

古城小学校

— 第 1 号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和5年 6 月発行

旭市教育委員会教育総務課学校再編室

古城小学校の学校再編について 地域検討会議を開催します

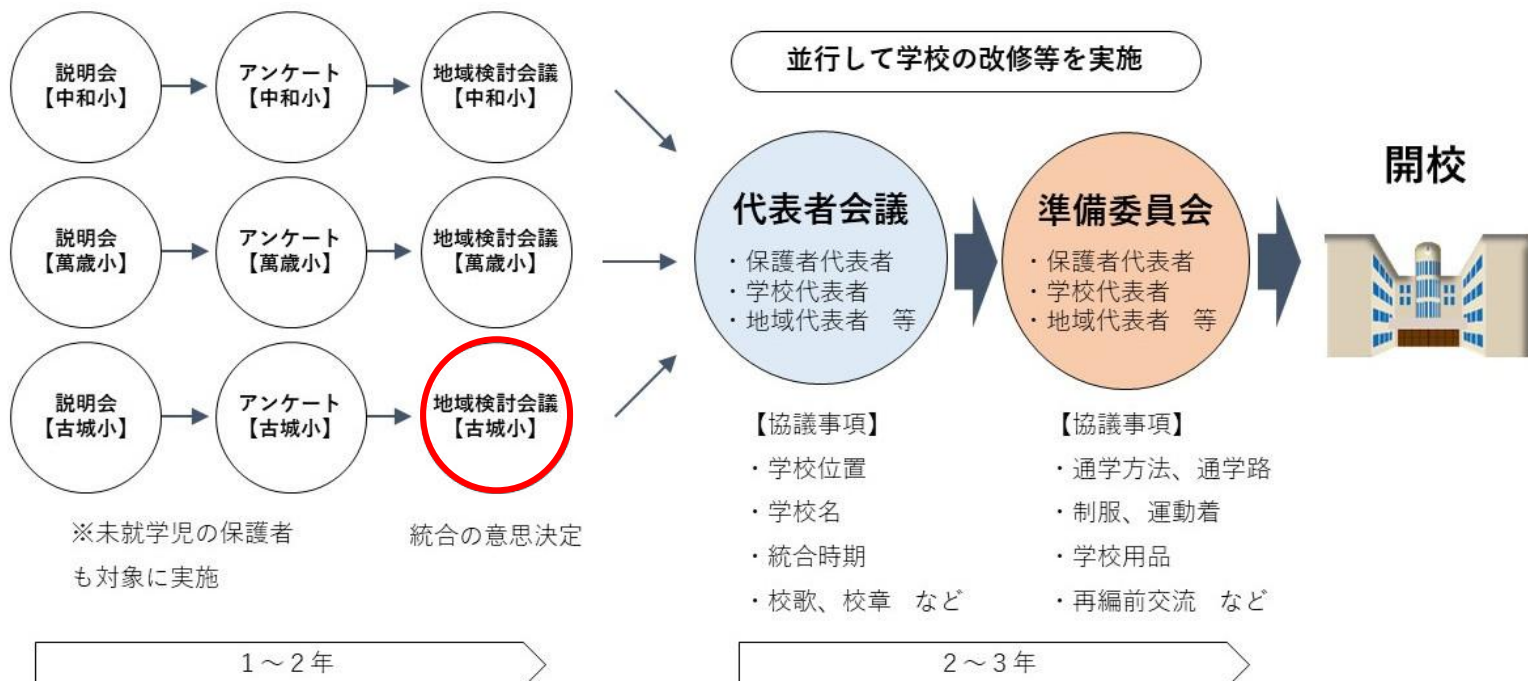
旭市教育委員会では、中和小学校・萬歳小学校・古城小学校の学区の保護者の皆様を対象に、昨年11月に保護者説明会の開催、昨年12月に保護者アンケートの実施、本年2月には地域説明会を開催し、学校再編について意見をお聞きしてきたところです。

これらの結果をもとに、今年度は「保護者の代表」、「地域の代表」、「学校関係者」等で構成した『古城小学校地域検討会議』を設置し、学校再編について検討を始めます。

第 1 回会議開催 日時：令和 5 年 7 月 1 2 日（水） 午後 6 時半から
場所：古城小学校 2 階ランチルーム

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により入場を制限することがございます。あらかじめご了承ください。

学校再編の進め方



小学校再編に係る保護者アンケート 集計結果（古城小学校区抜粋）

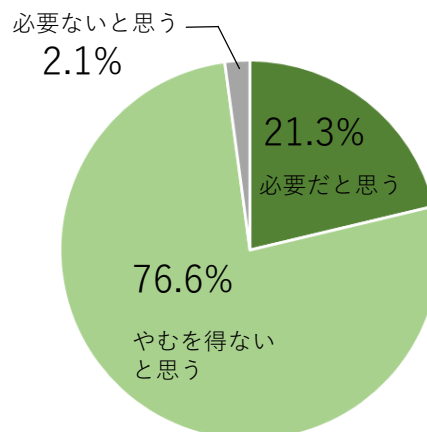
対象：古城小学校児童の保護者

期間：令和4年12月13日～令和5年1月15日

回答数：47 回答率：58.75%

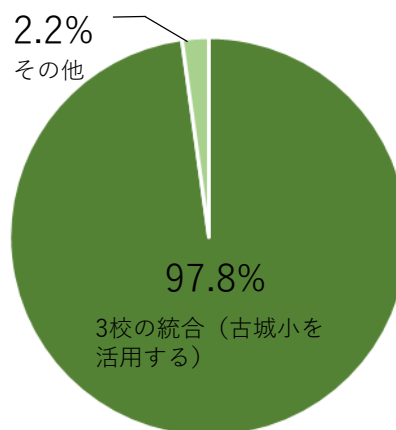
①学校統合は必要だと思いますか。

1	必要だと思う	10	21.3%
2	やむを得ないと思う	36	76.6%
3	必要ないと思う	1	2.1%



②統合する場合、どのような統合が望ましいと思いますか。（①で1または2と回答した人のみ）

1	3校の統合（古城小を活用する）	45	97.8%
2	その他	1	2.2%



③統合する場合、その時期はいつ頃が望ましいと思いますか。（①で1または2と回答した人のみ）

1	できるだけ早く	17	37.0%
2	5年以内	21	45.7%
3	それ以降でよい	8	17.4%

